

美々津中学校通信

1月号

R7. 1. 1

発行者校長



美々津中HPへ

謹賀新年 ～ 2025年

新年明けましておめでとうございます。令和七年（二〇二五年）がスタートしました。今年が皆さまにとつて実り多い素晴らしい年になりますようお願いしています。

さて、今年は「巳年」です。巳（み・へび）は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため巳（み・へび）の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられているようです。コロナ禍が終息した今、「不易」と「流行」を考えさせられます。本来なら10年ぐらいのスパンで変化（進化）していったはずのものが、コロナ禍を通してわずか2、3年で変わってしまったものが多数見受けられます。その最たるものが学校では、タブレットで、世の中では電子決済やオンライン化などがそれに当たります。つまり、あらゆるものがデジタル化されています。そのような急激な変化の中で今を生きている中学生は、まさにその変化に柔軟に対応していく力が求められます。巳年は、その変化に対応し発展できる年になるといわれていますので、変化に対し自分なりに考え、判断して行動していくことが必要です。ぜひ、そんな年になるようがんばっていきましょう。



校長と生徒会役員との対談

十月三十一日（木）に新生徒会役員に任命されて早一カ月半が過ぎようとしています。十二月十一日（水）の昼休み時間に新生徒会役員3名（会長・敷田心咲さん、副会長・古川煌翔さん、同・治田健伸さん）と校長との対談を行いました。新生徒会役員の意気込みや校長からの期待を交えながら和やかな雰囲気の中で対談が行われました。

（校長）今の美々津中の良いところ何ですか？

（敷田）学年関係なく仲がよく、挨拶がよいことと委員会活動や清掃の取組がよいことです。

（古川）当たり前のことをすばらしくできることです。

（治田）自主的に挨拶ができることと先輩後輩の仲が良く、互いにリスペクトしているところです。

（校長）当たり前のことをすばらしくできるというのは、校長先生も以前話したことがありますね。

（校長）なぜ、生徒会役員になろうと思ったのですか？
（古川）役員になることで自分を高めようと思ったからです。

（治田）これまでの生徒会役員の先輩に憧れていたからです。
（敷田）先輩たちが学校のために活動している姿を見て、私も学校や地域のために力になりたいと思ったからです。
（校長）古川さんの役員になることで自分を高めようという考えは、とてもすばらしいことだと思います。がんばってください。

（校長）美々津中の課題は何だと思いますか？

（治田）二分前着席や言葉遣いが良くない人がいることです。

（校長）それは、1年生としての課題ということですね。

（敷田）昼休み時間に貸し出す道具の使い方が悪いことです。

（古川）自分も同じく道具の使い方が悪いことです。

（校長）それは、2年生としての課題ですね。それぞれ所属している学年の課題のようですが、それは今後、専門委員会や中央委員会で取り上げて解決していかないとはいけませんね。（中略）日頃から、学校の課題が見えるように鋭い感覚を身につけておかないといけませんね。



（中略）

（校長）今後、美々津中をどうしていきたいですか。そのために生徒会役員としてどうしていきますか。

（古川）いろいろな行事に生徒全員が自主的に協力していけるように、他学年との交流をもっと増やしていきたいです。

（治田）伝統を引き継ぎ、全員が楽しく生活できるように具体策を考えていきたいです。

（敷田）学力向上、清掃活動に力を入れていきたいです。また、明元素であふれる学校を目指すために「やさしい言葉の木」の活動をより一層進めていきます。

（校長）3人とも生徒全員が規律ある中にも、楽しく、協力しやさいい雰囲気のある学校にしたいということですね。とても重要なことが含まれていると思います。ぜひそんな学校になるよう期待しています。

一年生

港湾工事見学会

十一月十二日(金)、宮前建設様による細島港防波堤消波ブロック据付工事の見学依頼を受け、この程、本校1年生が校外学習として参加しました。

この日は、天候に恵まれ、海上での風もほとんどなく風の状態でし
た。本校一行は、宮前建設様より学
校までバスによる送迎を受け、まず
細島港湾福祉センターに到着しまし
た。ここで港湾工事における講義を
受けた後、二班に分かれ観光船に乗
っての現場見学と使用機械の操作体
験を行いました。観光船での現場見
学は、沖合3kmでの防波堤工事を
見学しました。人の何倍もあるテト
ラポットをいくつも埋め込んでいく
作業は、そのスケールの大きさに驚
くばかりだったようです。一方で、
工事で使用されているクレーンを陸
上で操作する体験では、その迫力に
圧倒されたようでした。海上での工
事というあまり近くで目にするこ
とのない見学・体験は生徒たちにと
って大変貴重な機会となりました。



門松の寄贈

昨年に引き続き、今年も門松の
寄贈がありました。寄贈していた
だいたのは、黒木優那さん(3
年)、黒木太陽さん(1年)の保
護者である黒木博之様です。竹細
工のお仕事をされていることか
ら、毎年小学校に寄贈をされてい
たそうですが、中学校にも昨年か
ら寄贈していただいています。竹
と松を巧みに加工し、見事な門松
に仕上げられています。この素晴
らしい門松を飾り、新年を迎えら
れるというのは、大変光栄で感謝
の気持ちでいっぱいです。ありが
とうございます。

そもそも、門松はどんな意味・
由来があるのかを調べてみまし
た。門松は、正月に年神様がやっ
てくるための目印として備えら
れてもののだそうです。年神様と
は、その年の福や徳をつかさどる
歳徳神(としとくじん)や穀物の
神、先祖の霊などの複数の神様が
一つにまとめられた民間信仰と
して伝わったものとされています。
そのため、お正月に年神様を
家へお迎えするには門松が必要
になってきたということなのです。



いのちの大切さを 考える集会

十二月九日(月)、美々津中の
いのちの大切さを考える集会が
開かれ、方々から集まった。今
回は「SOSの出し方」について
学ぼう、というテーマで、言葉
を交わす。この2つがテーマで
前半は本校のスクールカウンセ
ラーである西田守先生から「S
OSの出し方」について講話を
いただきました。後半は本校の
取組である「毎学期実施」で
の作成(毎学期実施)で「落
ち込んで」人声かけ、花びら
うみまらした。その模造紙に描
かれました。大きな木に貼って
ました。全生徒が書いた花び
でやさしい言葉の木の完成し
ました。

この取組を通じて、生徒個々
人が相手のことを敬い、生徒
や美しい言葉で満ちあふれて
る美々津中学校でありたいと願
っています。



行事予定

- 1月 7日(火)始業の日
- 1月 8日(水)職員会・RD
- 1月 9日(木)実力テスト(全学年→10日)
- 1月13日(月)祝 成人の日
- 1月14日(火)PTA立番指導(→17日)
- 1月15日(水)小中合同研修会(寺迫小)
- 1月17日(金)英語検定
- 1月19日(日)家庭の日
- 1月20日(月)新入生保護者説明会
- 1月21日(火)読み聞かせ
- 1月22日(水)職員会・RD
- 1月26日(日)日向市防災訓練
- 1月27日(月)私立入試事前指導
教育相談(→31日)
- 1月28日(火)私立入試(日大・第一・
ウルスラ)
- 1月29日(水)私立入試(延学・日章)
職員会・RD

部活動計画

◆軟式野球部

◇練習試合等(未定)

◆女子ソフトテニス部

1月12日(日) 練習試合等(財光寺・東郷)

1月18日(土) 練習試合等(市内4校)

1月25日(土)

★日向地区交流ソフトテニス大会(牧水公園)

☆地区選抜A大会(生目の杜)

◆卓球部

1月25日(土)

★高鍋町新春卓球大会(高鍋町スポーツセンター)

◇練習試合等(未定)